令和6年
火災･救急･救助の概要

舞鶴市消防本部

消防本部ホームページ　https://www.maizuru119.com/
Eメールアドレス　syoubou@city.maizuru.lg.jp

火　災

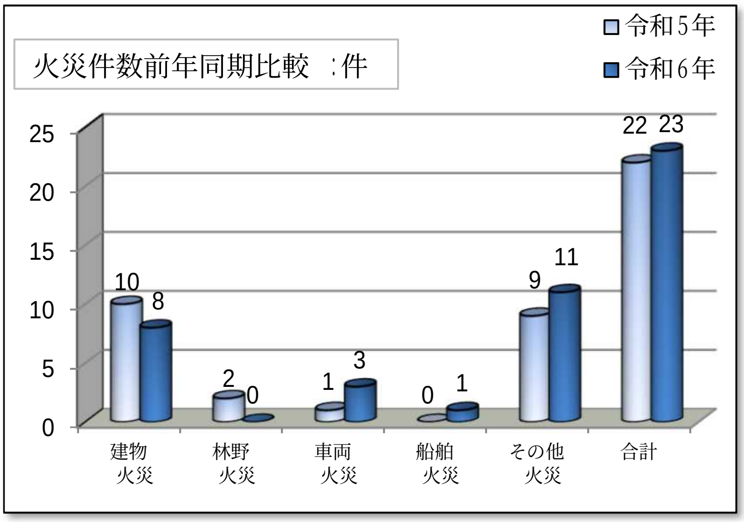
令和6年　火災概要

≪火災の概要≫

令和6年中の火災件数は23件で、前年から1件増加しました。

火災種別では、建物火災8件、車両火災3件、船舶火災1件、その他火災11件となっています。

火災原因の主なものは、たばこ、マッチ･ライター、放火の疑いがそれぞれ3件、排気管、電気機器、たき火、放火がそれぞれ2件、こんろ、風呂かまど、電気装置がそれぞれ1件となっています。

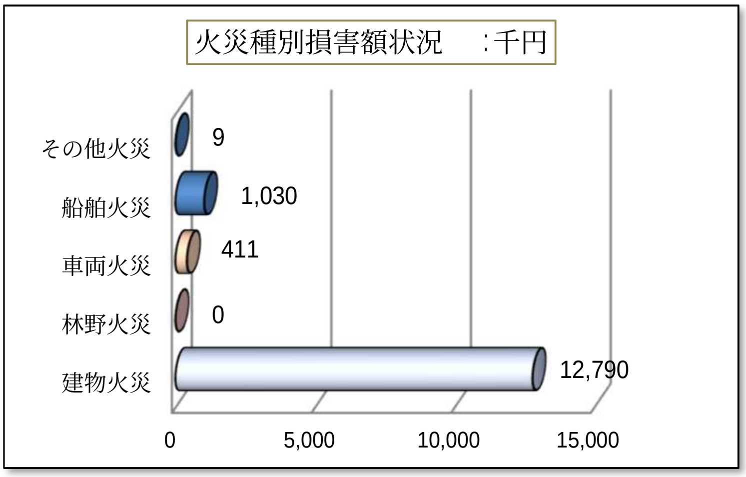


≪火災損害状況≫

火災損害額は、14，240千円で、前年と比較すると1，512，911千円減少しています。

火災1件あたりに換算すると約619千円／件となっています。

1日あたりに換算すると、約39千円／日となっています。



≪焼損面積等≫

建物焼損面積については、焼損床面積が185㎡（令和5年中1，185㎡）、焼損表面積が783㎡（令和5年中85㎡）となっています。

≪死者及び負傷者≫

火災による死傷者数は、死者が0名、負傷者が5名（令和5年中死者0名、負傷者1名）発生しました。

住宅用火災警報器の点検をしましょう！

≪地区別火災発生件数≫

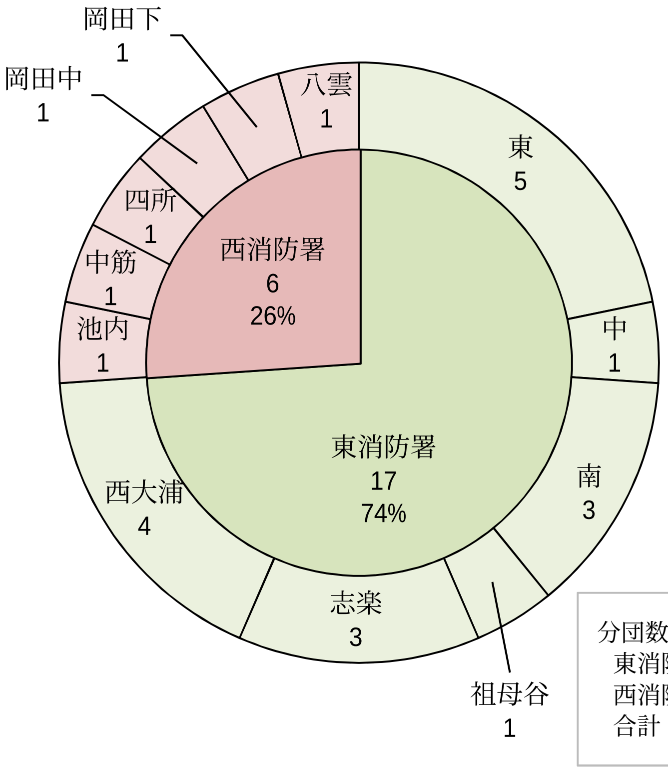
火災件数を消防署管轄別でみると、東消防署管内が17件、西消防署管内が6件発生しています。
また、分団の管轄区域別でみると、東分団管内で5件、西大浦分団管内で4件、南分団、志楽分団管内でそれぞれ3件、中分団、祖母谷分団、池内分団、中筋分団、四所分団、岡田中分団、岡田下分団、八雲分団管内でそれぞれ1件発生しています。

地区別火災発生状況　:件

無火災の分団

東消防署管内
与保呂分団
朝来分団
東大浦分団

西消防署管内
西分団
余内分団
高野分団
岡田上分団
神崎分団



分団数
東消防署管内　9分団
西消防署管内　11分団
合計　20分団

過去5年間の火災概要

火災種別出火件数の推移

(単位:件)

	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	その他	合計
令和2年	16	3	3		9	31
令和3年	17	1	2		3	23
令和4年	18		5	1	10	34
令和5年	10	2	1		9	22
令和6年	8		3	1	11	23

火災種別損害額の推移

(単位:千円)

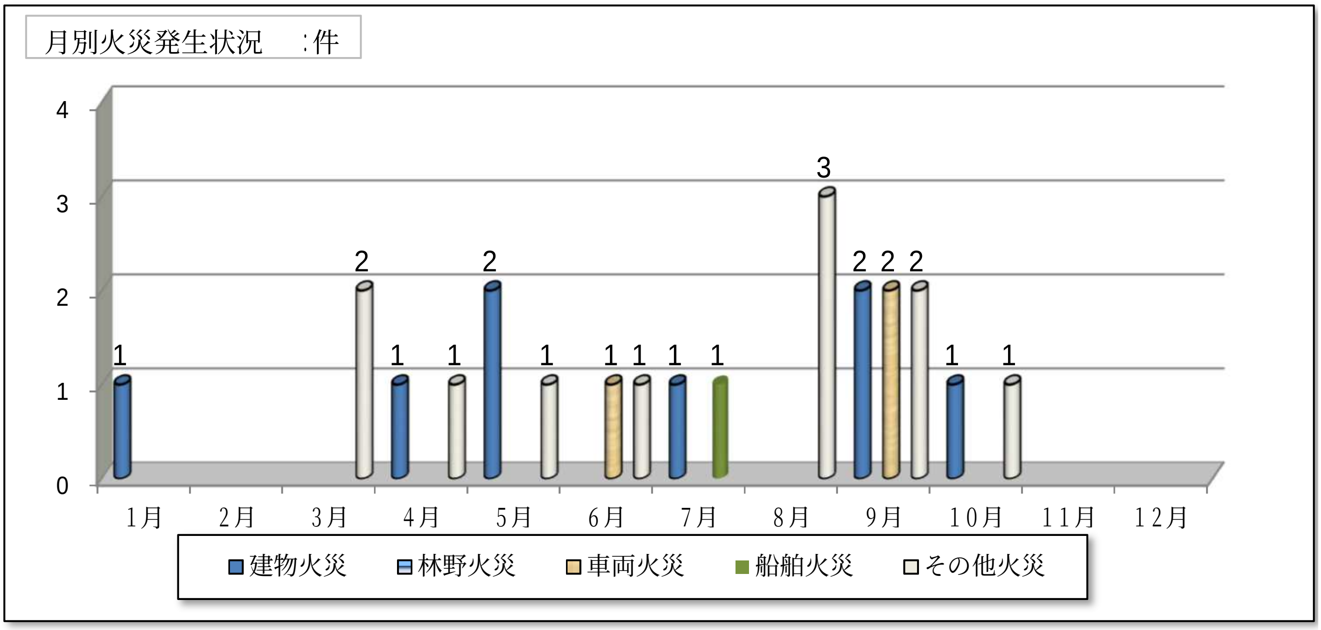
	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	その他	合計
令和2年	48,808		20			48,828
令和3年	78,648		514			79,162
令和4年	56,505		123	633	1	57,262
令和5年	51,687		20		1,475,444	1,527,151
令和6年	12,790		411	1,030	9	14,240

火災概要及び前年比

種別	年別	令和6年	令和5年	比較（△減）
出火件数	計	23 件	22 件	1 件
	建 物	8 件	10 件	△ 2 件
	うち住宅火災	4 件	8 件	△ 4 件
	林 野	0 件	2 件	△ 2 件
	車 両	3 件	1 件	2 件
	船 舶	1 件	0 件	1 件
	その他	11 件	9 件	2 件
焼損面積等	建物床面積（㎡）	185 ㎡	1,185 ㎡	△ 1,000 ㎡
	建物表面積（㎡）	783 ㎡	85 ㎡	698 ㎡
	林 野（a）	0 a	11 a	△ 11 a
	車 両（台）	3 台	1 台	2 台
	船 舶（艇）	1 艇	0 艇	1 艇
	その他（㎡）	2,168 ㎡	10,841 ㎡	△ 8,673 ㎡
焼損棟数	全 焼	2 棟	5 棟	△ 3 棟
	半 焼	0 棟	1 棟	△ 1 棟
	部分焼	6 棟	9 棟	△ 3 棟
	ぼ や	1 棟	6 棟	△ 5 棟
損害額	建物火災	12,790 千円	51,687 千円	△ 38,897 千円
	建物火災以外	1,450 千円	1,475,464 千円	△ 1,474,014 千円
	合 計	14,240 千円	1,527,151 千円	△ 1,512,911 千円
り災世帯	全 損	1 世帯	7 世帯	△ 6 世帯
	半 損	0 世帯	0 世帯	0 世帯
	小 損	4 世帯	15 世帯	△ 11 世帯
り災人員		7 人	30 人	△ 23 人
死傷者	死 者	0 人	0 人	0 人
	負傷者	5 人	1 人	4 人
火災発生間隔		15.9 日	16.6 日	――――
1件平均損害額		619 千円	69,416 千円	△ 68,797 千円
1日平均損害額		39 千円	4,184 千円	△ 4,145 千円

月別火災発生状況

種別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
出火件数	計	1	0	2	2	3	2	2	3	6	2	0	0	23
	建物	1			1	2		1		2	1			8
	うち住宅火災	1			1	1				1				4
	林野													0
	車両						1			2				3
	船舶							1						1
	その他			2	1	1	1		3	2	1			11
焼損面積	建物床面積(㎡)	7			106	59		12		1				185
	建物表面積(㎡)					1		3		1	778			783
	林野(a)													0
	車両(台)						1			2				3
	船舶(艇)							1						1
	その他(㎡)			1,358	585				225					2,168
焼損棟数	全焼				2									2
	半焼													0
	部分焼	1				2		1		1	1			6
	ぼや									1				1
損害額(千円)	計	301	0	0	1,873	173	417	3,087	0	99	8,290	0	0	14,240
	建物	301			1,873	173		2,057		96	8,290			12,790
	林野													0
	車両						408			3				411
	船舶							1,030						1,030
	その他						9							9
り災世帯	全損				1									1
	半損													0
	小損	2				1		1						4
り災者数		2			2	2		1						7
死傷者	死者													0
	負傷者	1			1			2	1					5



覚知時間別火災発生状況

(単位:件)

時間別＼月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	火災種別 建物	林野	車両	船舶	その他	合計
0時～1時																		0
1時～2時									1				1					1
2時～3時																		0
3時～4時																		0
4時～5時										1			1					1
5時～6時							1						1					1
6時～7時																		0
7時～8時					1								1					1
8時～9時								1									1	1
9時～10時					1								1					1
10時～11時				1				1									2	2
11時～12時						1			1						2			2
12時～13時																		0
13時～14時			1		1												2	2
14時～15時	1												1					1
15時～16時							1									1		1
16時～17時									1				1					1
17時～18時																		0
18時～19時			1					1									2	2
19時～20時									1	1							2	2
20時～21時				1									1					1
21時～22時																		0
22時～23時						1			1						1		1	2
23時～24時									1								1	1
合計	1	0	2	2	3	2	2	3	6	2	0	0	8	0	3	1	11	23

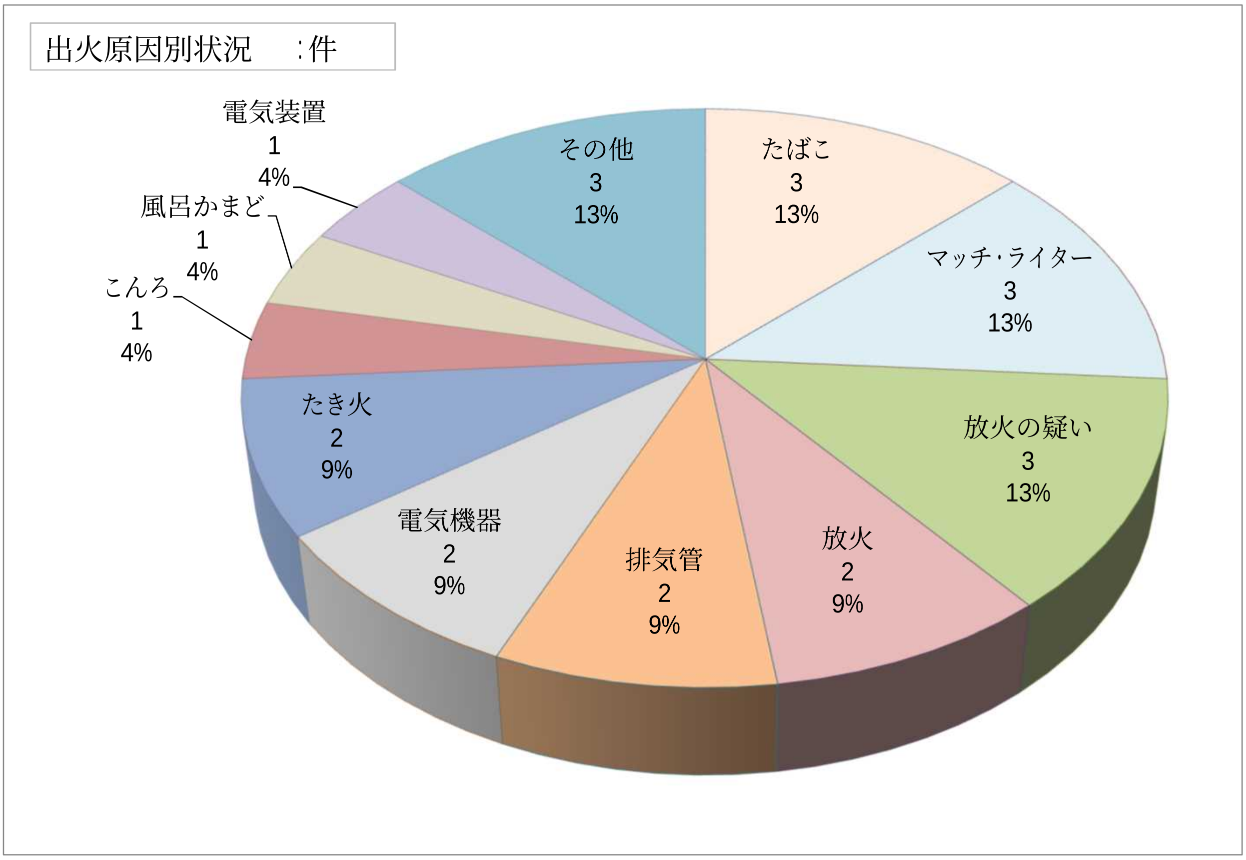
曜日別火災発生状況

(単位:件)

曜日別＼月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	火災種別 建物	林野	車両	船舶	その他	合計
日曜日	1				2		1			1			3			1	1	5
月曜日								1									1	1
火曜日				1	1	1	1	1	1				3				3	6
水曜日									2	1			2				1	3
木曜日									1						1			1
金曜日			1						1						1		1	2
土曜日			1	1		1		1	1						1		4	5
合計	1	0	2	2	3	2	2	3	6	2	0	0	8	0	3	1	11	23

出火原因別状況

区分／原因	火災件数（件）						損害額（千円）	焼損面積等						負傷者（人）	死者（人）
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他		建物床面積（㎡）	建物表面積（㎡）	林野（a）	車両（台）	船舶（艇）	その他（㎡）		
たばこ	3					3							90		
マッチ･ライター	3	1		1		1	10		1		1				
放火の疑い	3	1				2	8,299		778						
放火	2	2					2,099	13	3					2	
排気管	2			1	1		1,033				1	1			
電気機器	2	2					217	59	1						
たき火	2					2							800	1	
こんろ	1	1					301	7						1	
風呂かまど	1	1					1,873	106						1	
電気装置	1			1			408				1				
その他	3					3							1,278		
合計	23	8	0	3	1	11	14,240	185	783	0	3	1	2,168	5	0



消防事故の概要

≪消防事故の概要≫

令和６年中の消防事故件数は、２６０件で昨年に比べ９３件増加しました。
事故種別でみると、令和６年中は漏洩·流出事故、燃焼放置事故、誤報事故、その他の事故が増加し、焼損事故、電気事故が減少しました。

消防事故発生状況

種別＼年別		令和６年	令和５年	前年との比較
消防事故種別	焼損事故	2	3	△ 1
	爆発事故	0	0	0
	漏洩・流出事故	20	18	2
	電気事故	1	4	△ 3
	燃焼放置事故	6	5	1
	誤報事故	58	29	29
	その他の事故	173	108	65
合計		260	167	93

救　急

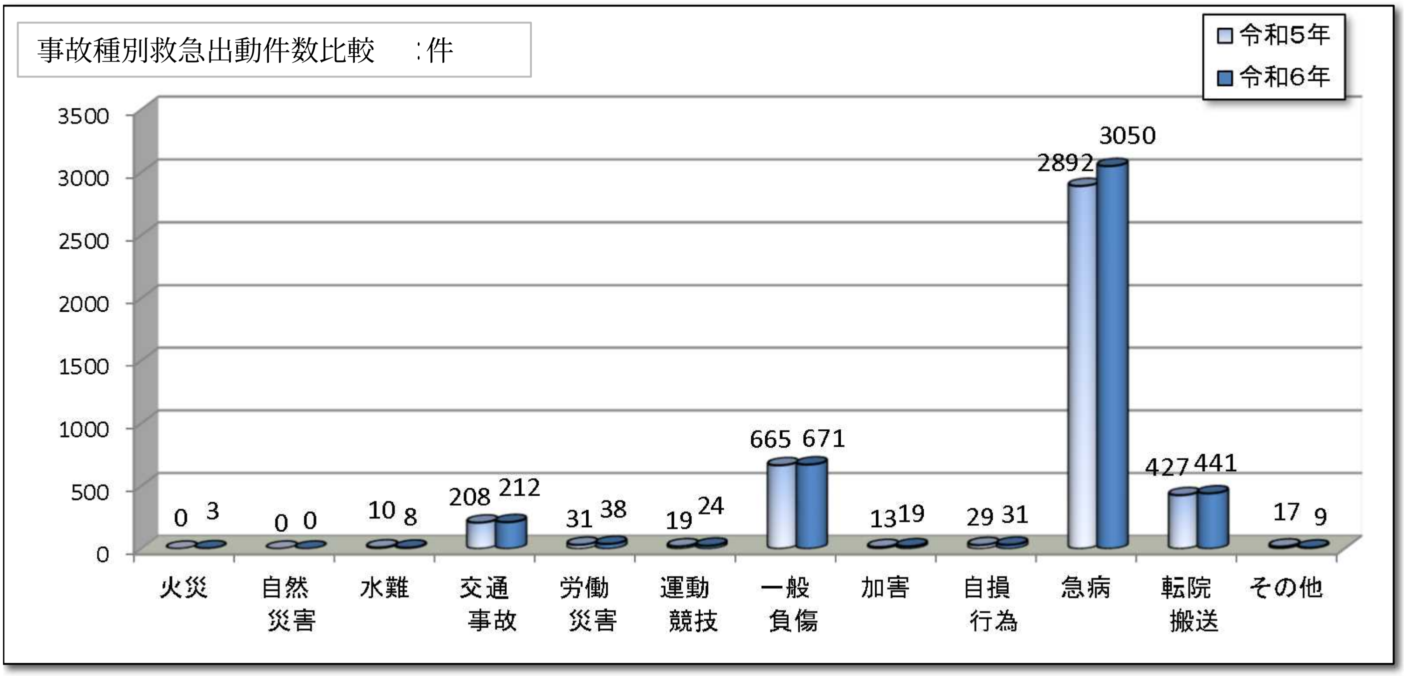
令和6年　救急概要

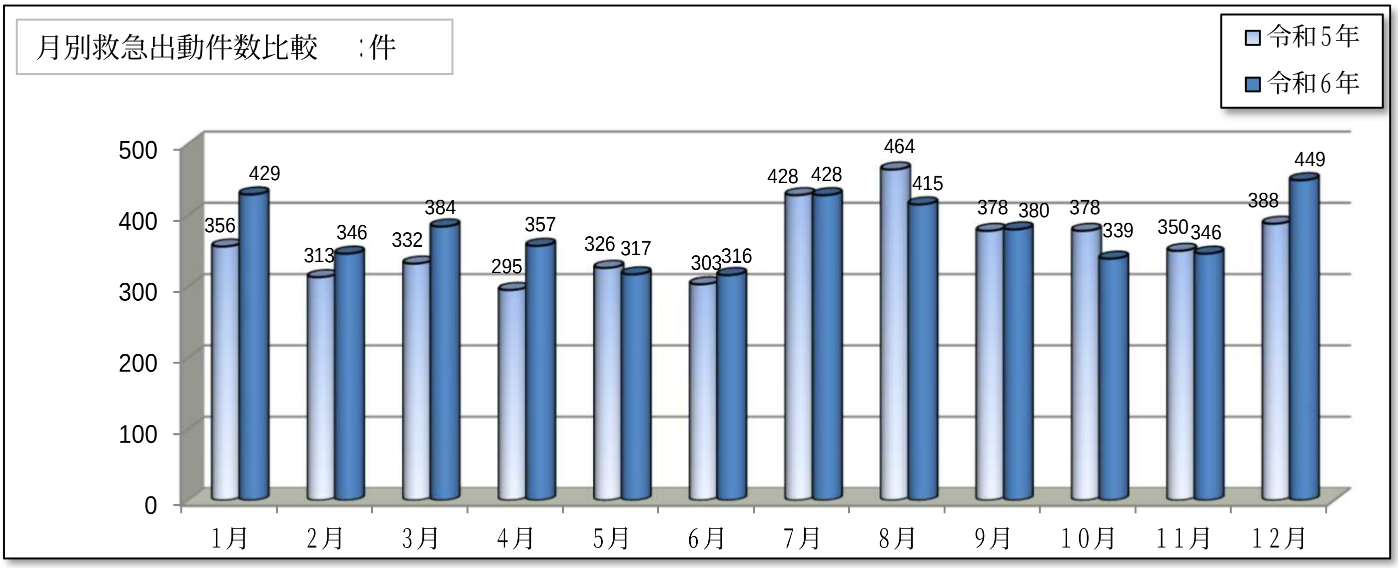
≪救急の概要≫

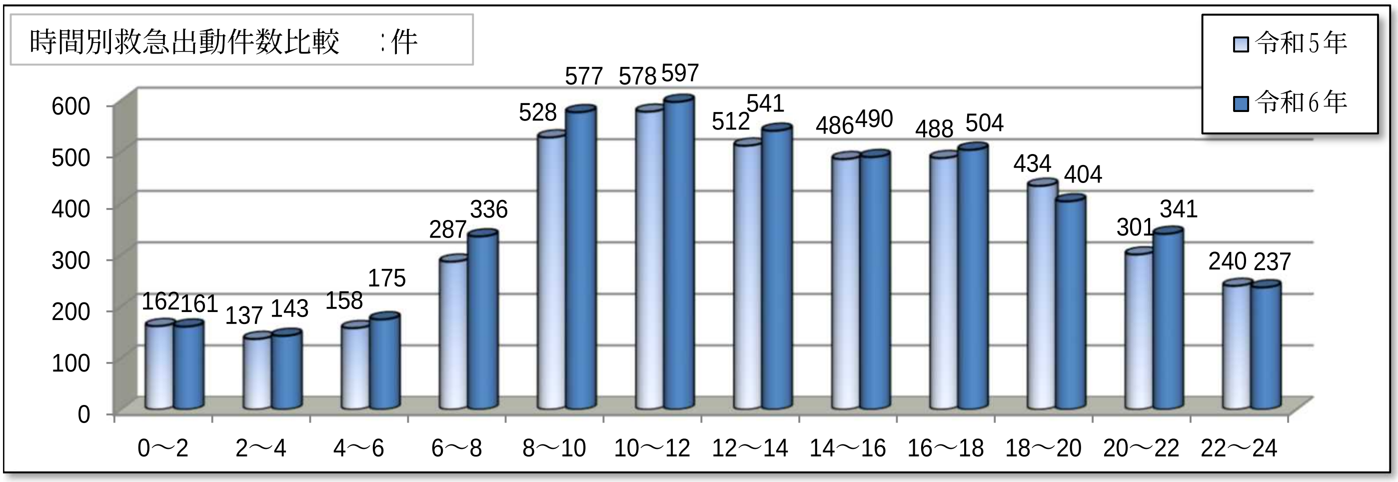
令和6年の救急出動件数は4，506件で、前年（4，311件）と比較すると195件の増加、救急搬送人員については4，235人で、前年（3,986人）と比較すると249人の増加となっています。

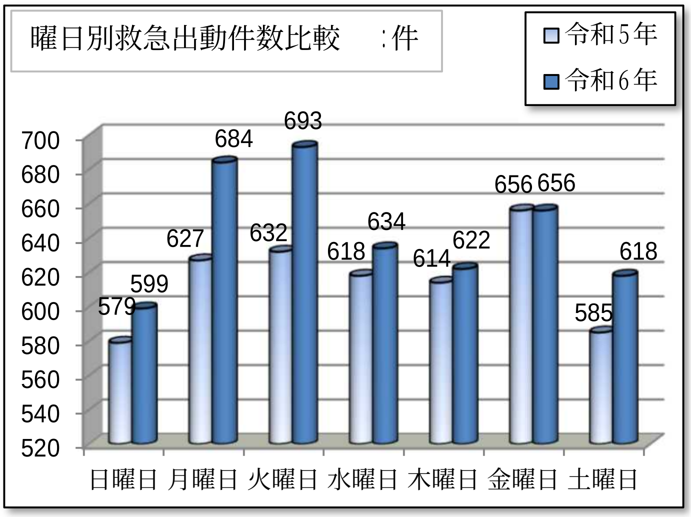
≪救急出動件数≫

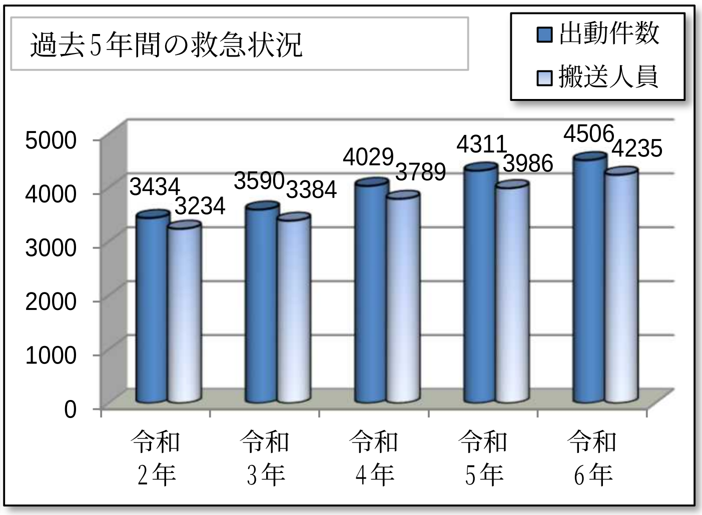
事故種別救急出動件数をみると、急病は3，050件、一般負傷671件、転院搬送441件、交通事故212件の順となり、前年と比較すると、急病は158件増加、一般負傷は6件増加、転院搬送は14件増加、交通事故は4件増加となっています。





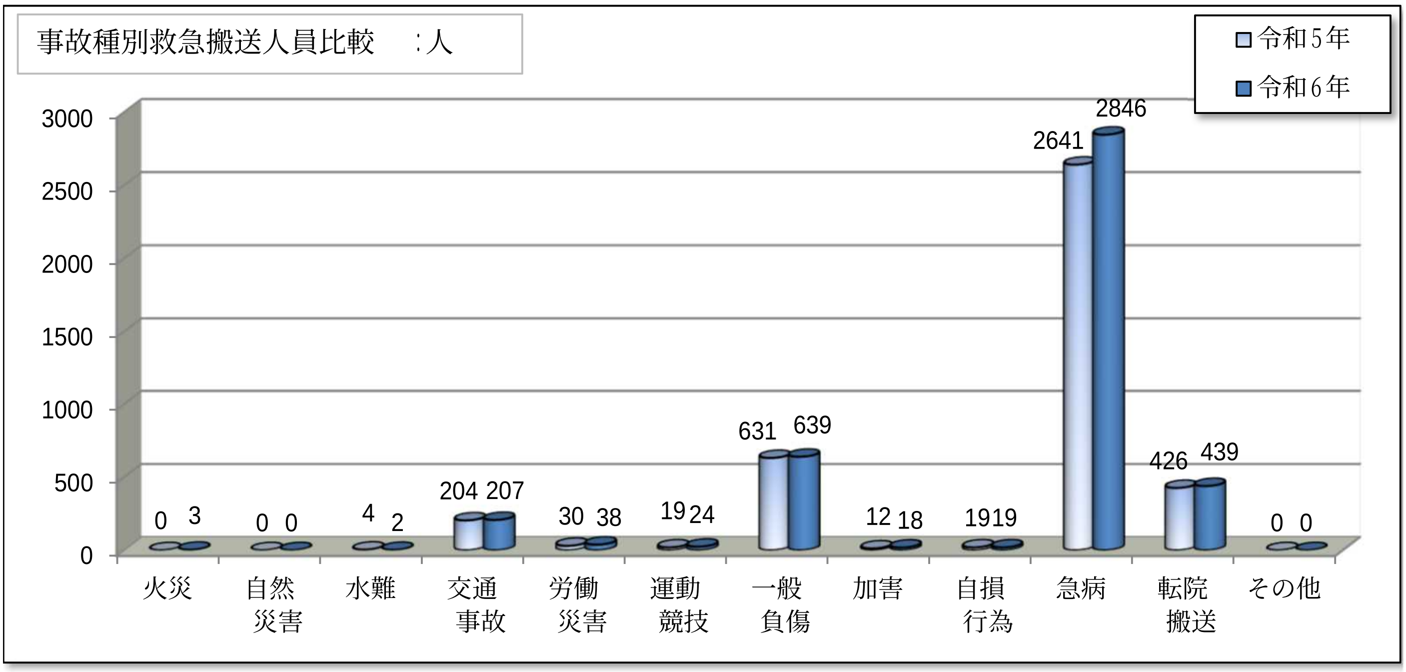






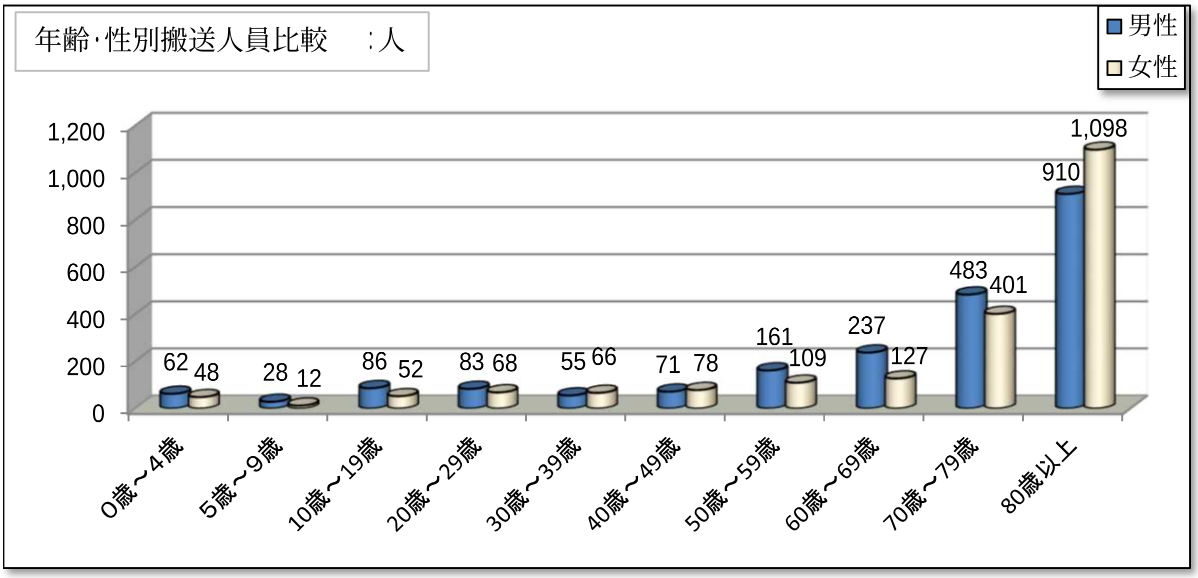
≪搬送人員状況≫

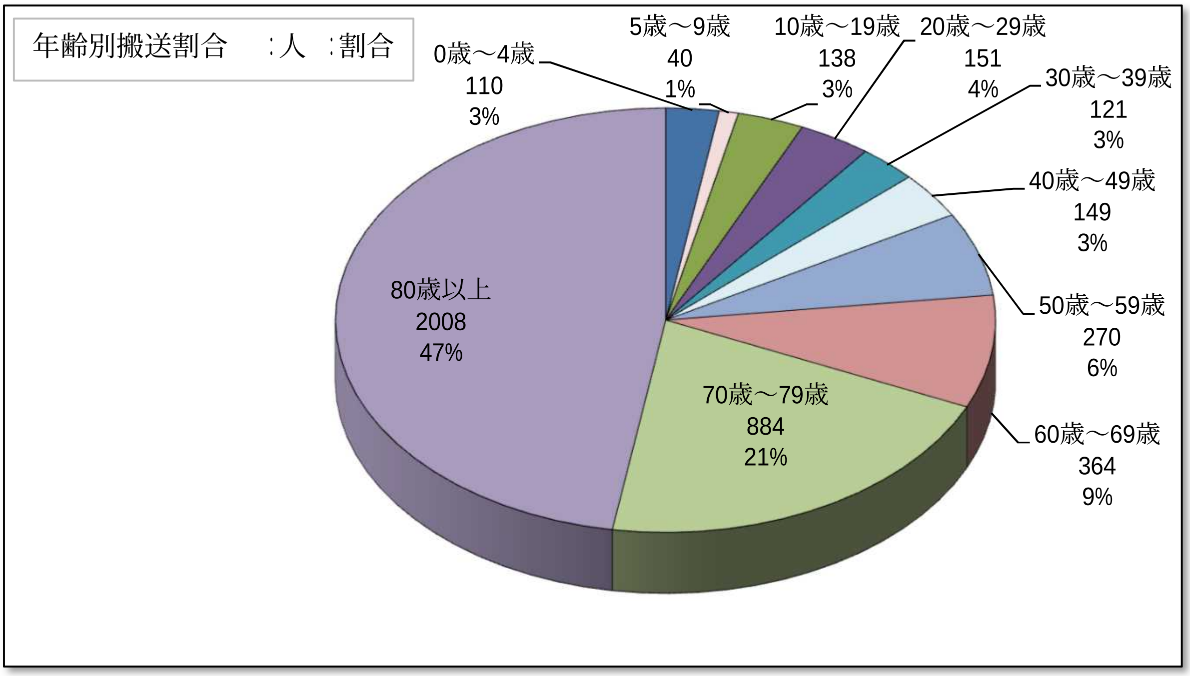
救急搬送人員は4，235人で、性別では男性が2，176人、女性が2，059人となっています。
年齢区分別の搬送人員は、70歳以上が2，892人と全体の約68%を占めています。



≪年齢·性別搬送人員比較≫ (単位:人)

年齢＼性別	令和6年			令和5年			比較(△減)		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
0歳～4歳	62	48	110	94	78	172	△ 32	△ 30	△ 62
5歳～9歳	28	12	40	32	25	57	△ 4	△ 13	△ 17
10歳～19歳	86	52	138	75	49	124	11	3	14
20歳～29歳	83	68	151	73	59	132	10	9	19
30歳～39歳	55	66	121	54	64	118	1	2	3
40歳～49歳	71	78	149	91	68	159	△ 20	10	△ 10
50歳～59歳	161	109	270	151	82	233	10	27	37
60歳～69歳	237	127	364	238	139	377	△ 1	△ 12	△ 13
70歳～79歳	483	401	884	461	363	824	22	38	60
80歳以上	910	1,098	2,008	760	1,029	1,789	150	69	219
合計	2,176	2,059	4,235	2,029	1,956	3,985	147	103	250





≪傷病程度別搬送状況≫

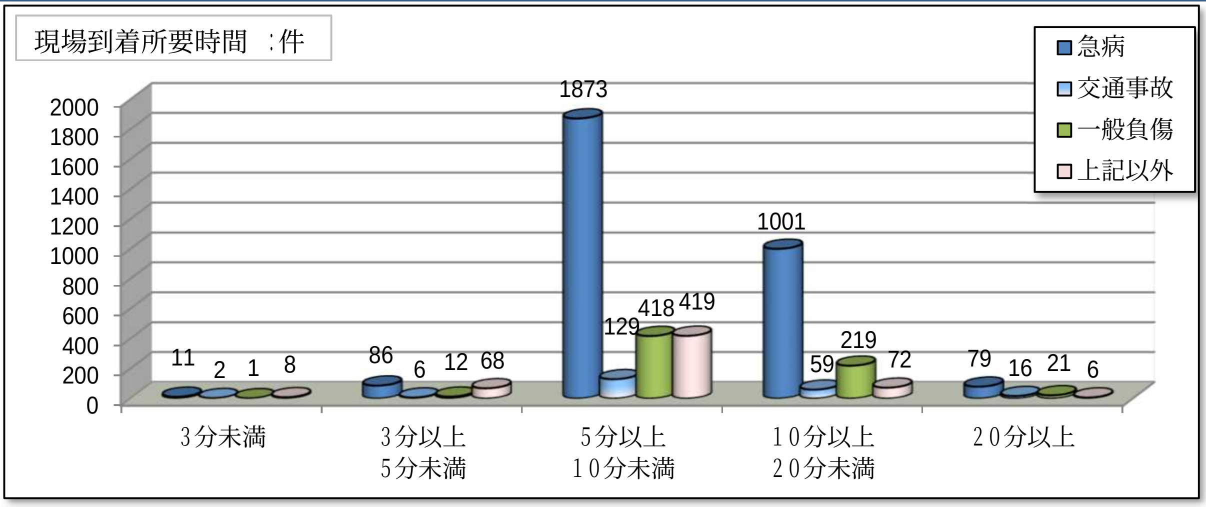
傷病程度別搬送状況は軽症が2，060人で全搬送人員の約49%を占め、次いで中等症1，499人(約35%)、重症581人(約14%)の順となっています。

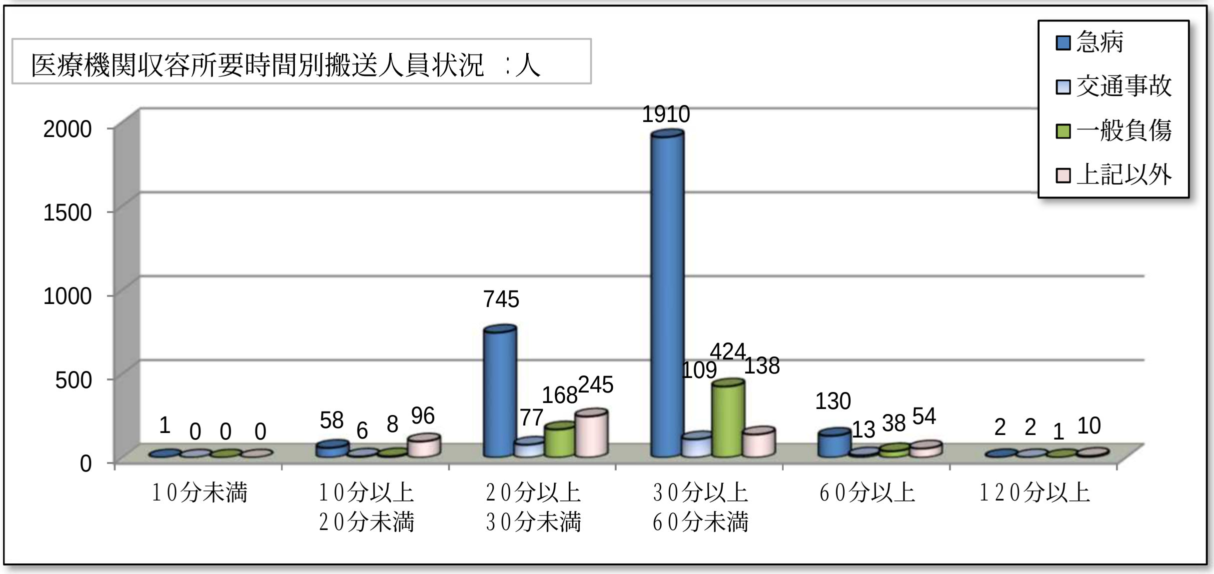
	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計(人)
急　　病	85	295	1,058	1,407	1	2,846
一般負傷	3	153	120	363	0	639
交通事故	1	13	29	163	1	207
上記以外	3	120	292	127	1	543
合　　計	92	581	1,499	2,060	3	4,235

※　死　亡：初診時において、死亡が確認されたもの
　　重　症：傷病の程度が21日以上の入院加療を必要とするもの
　　中等症：傷病の程度が入院を要するもの(21日未満の入院)
　　軽　症：傷病の程度が入院を必要としないもの
　　その他：医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

≪救急所要時間状況≫

救急隊が119番を受信してから現場到着するまでの所要時間は、平均9．0分となり、医療機関収容所要時間の平均は36．4分となっています。
医療機関への収容所要時間で30分以上要している中には、市外への搬送も含まれています。





≪事故種別でみる搬送先別搬送者数≫ (単位：人)

事故種別 / 搬送医療機関		救急事故種別												合計
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		
												転院搬送	その他	
舞鶴市内		3		2	200	36	24	636	18	18	2,818	352		4,107
管外	中丹				3	1		2			18	47		71
管外	府下 (中丹以外)										4	28		32
管外	府外				4	1		1		1	6	11		24
その他の場所												1		1
合計		3	0	2	207	38	24	639	18	19	2,846	439	0	4,235

※ドクターヘリ搬送は、府外へ計上。その他の場所は、搬送先が医療機関以外のものを計上（例：防災ヘリ、老人ホーム、歯科など）

≪急病比較(年間)≫

区分 ＼ 年別	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
全搬送人員	3,234	3,384	3,789	3,986	4,235
急病搬送人員	2,131	2,165	2,498	2,641	2,846
急病による搬送人員の全搬送人員に対する割合	66%	64%	66%	66%	67%

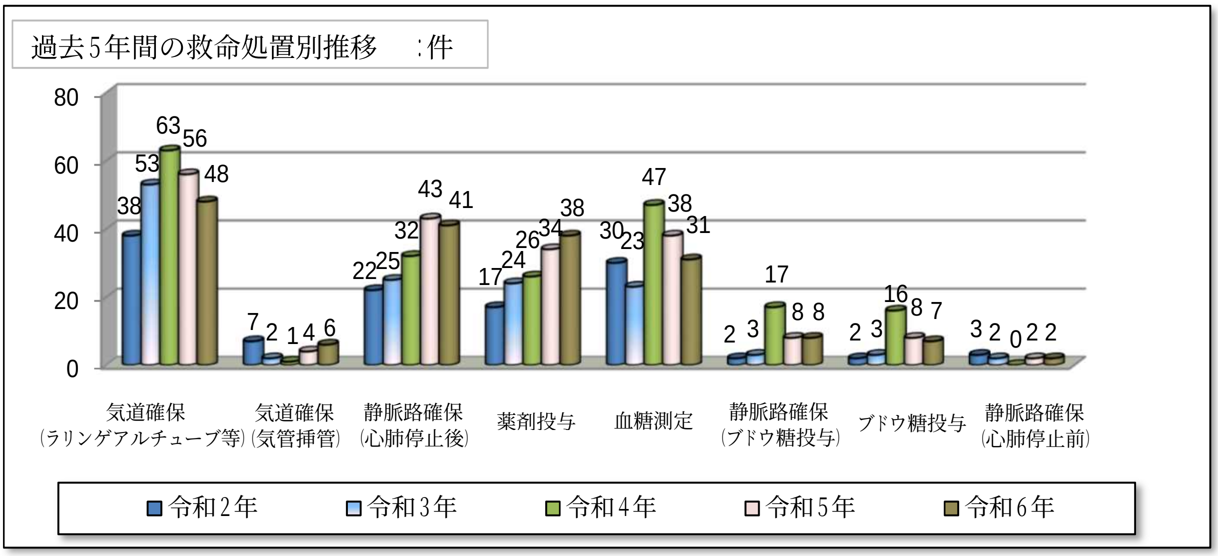
≪急病にかかる疾病分類別傷病程度≫ (単位：人)

疾病分類 ＼ 傷病程度		傷病程度					合計
		死亡	重症	中等症	軽症	その他	
循環器系	脳疾患	6	60	123	52		241
循環器系	心疾患等	68	55	86	78		287
消化器系		2	22	123	71		218
呼吸器系		4	49	192	82		327
精神系			5	11	86		102
感覚系			3	65	129		197
泌尿器系		1	6	68	63		138
新生物			26	71	13		110
その他		2	65	226	366		659
症状・徴候 診断名不明確		2	4	93	467	1	567
合計		85	295	1,058	1,407	1	2,846

≪応急処置･救命処置実施状況≫

搬送人員4，235人のうち、救急隊員が何らかの応急処置を実施した対象人員は4，227人で全搬送人員の約99．8％にあたり、応急処置総合計は19，353件で搬送人員1人あたり約4.6件の応急処置をしたこととなります。また、救急救命士による救命処置をみると器具による気道確保54件（ラリンゲアルチューブ等48件、気管挿管6件）、静脈路確保51件（心肺停止前2件、ブドウ糖投与8件、心肺停止後41件）、薬剤投与38件、血糖測定31件、ブドウ糖投与7件実施しました。

処置別＼事故種別		急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置	止血	9	12	28	7	56
	固定	6	49	26	10	91
	人工呼吸	2		1	1	4
	胸骨圧迫					0
	心肺蘇生	77	1	6	2	86
	うち自動	62	1	4		67
	酸素吸入	600	10	34	117	761
	気道確保（特定行為除く）	66		3	7	76
	保温	235	15	33	23	306
	被覆	9	22	50	15	96
	在宅療法継続	221	4	28	32	285
	ショックパンツ					0
	血圧測定	2,671	197	611	495	3,974
	聴診器による心･呼吸音聴取	1,646	121	276	143	2,186
	血中酸素飽和度測定	2,747	204	629	521	4,101
	心電図	2,362	92	311	294	3,059
	うち伝送	27		2		29
	除細動	8				8
	その他	2,757	199	630	505	4,091
応急処置合計		13,416	926	2,666	2,172	19,180
救命処置	気道確保（ラリンゲアルチューブ等）	45	1	2		48
	気道確保（気管挿管）	4		2		6
	静脈路確保（心肺停止後）	37		3	1	41
	薬剤投与	35		3		38
	血糖測定	31				31
	静脈路確保（ブドウ糖投与）	8				8
	ブドウ糖投与	7				7
	静脈路確保（心肺停止前）	1			1	2
救命処置合計		168	1	10	2	181
応急処置総合計		13,584	927	2,676	2,174	19,361
応急処置対象人員		2,846	207	638	536	4,227

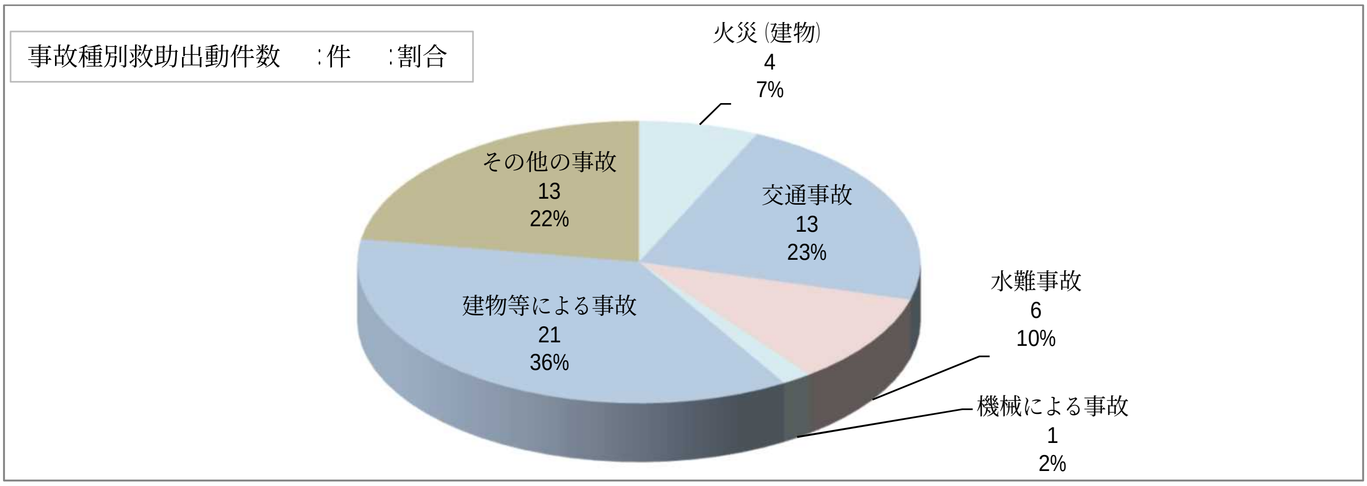
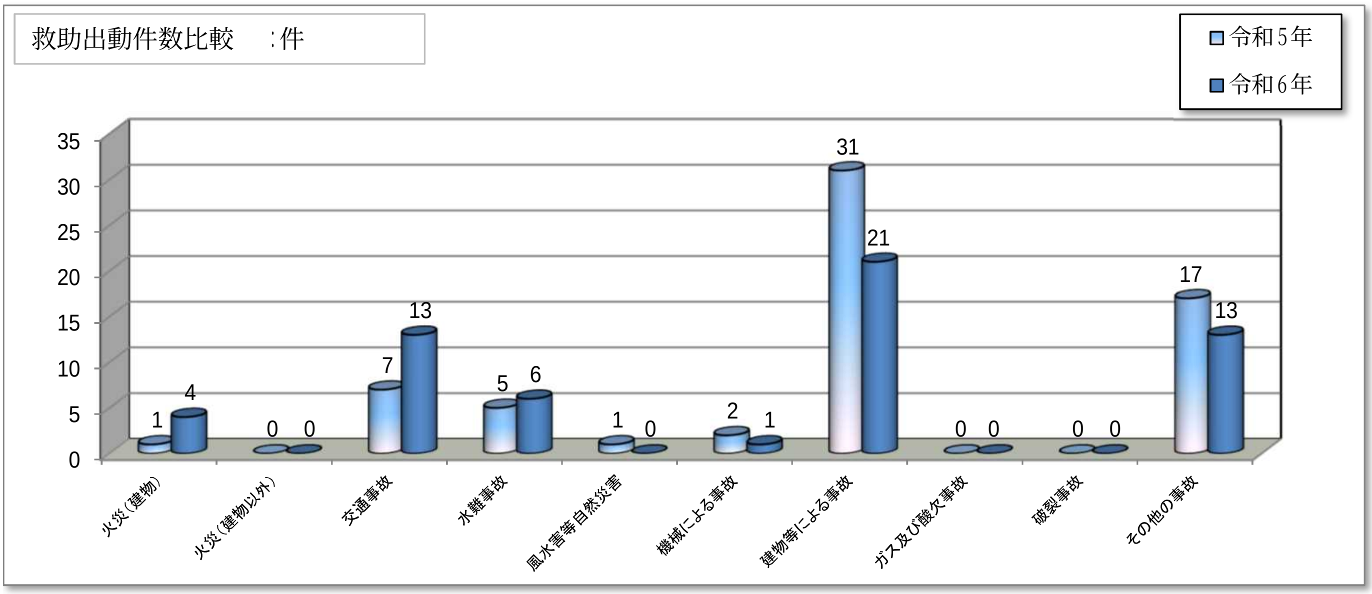


※「心肺機能停止前の静脈路確保及び輸液」並びに「血糖測定及び低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与」については、舞鶴市消防本部は平成26年10月1日から運用開始しています。

救　助

令和6年　救助概要

≪救助の概要≫

令和６年の救助出動件数は５８件、救助人員は３６人で、それぞれ前年と比較すると６件、１１人減少となりました。
事故種別救助人員でみると、建物等による事故が１４人と最も多く、次いで交通事故が１１人でした。

事故種別＼区分	令和６年			令和５年			前年比較		
	出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員
火災（建物）	4	3	1	1	1		3	2	1
火災（建物以外）									
交通事故	13	8	11	7	3	3	6	5	8
水難事故	6	5	5	5	4	4	1	1	1
風水害等自然災害				1	1	2	△ 1	△ 1	△ 2
機械による事故	1			2	1	1	△ 1	△ 1	△ 1
建物等による事故	21	15	14	31	27	26	△ 10	△ 12	△ 12
ガス及び酸欠事故									
破裂事故									
その他の事故	13	5	5	17	11	11	△ 4	△ 6	△ 6
合計	58	36	36	64	48	47	△ 6	△ 12	△ 11